

「川崎市総合計画」第3期実施計画・総括評価結果【概要版】

1 趣旨

「川崎市総合計画」第3期実施計画（以下「第3期実施計画」という。）における施策等について、計画期間（令和4年度～令和7年度）の評価結果及び「川崎市政策評価審査委員会」からいただいた意見等を取りまとめました。

2 川崎市総合計画における進行管理・評価

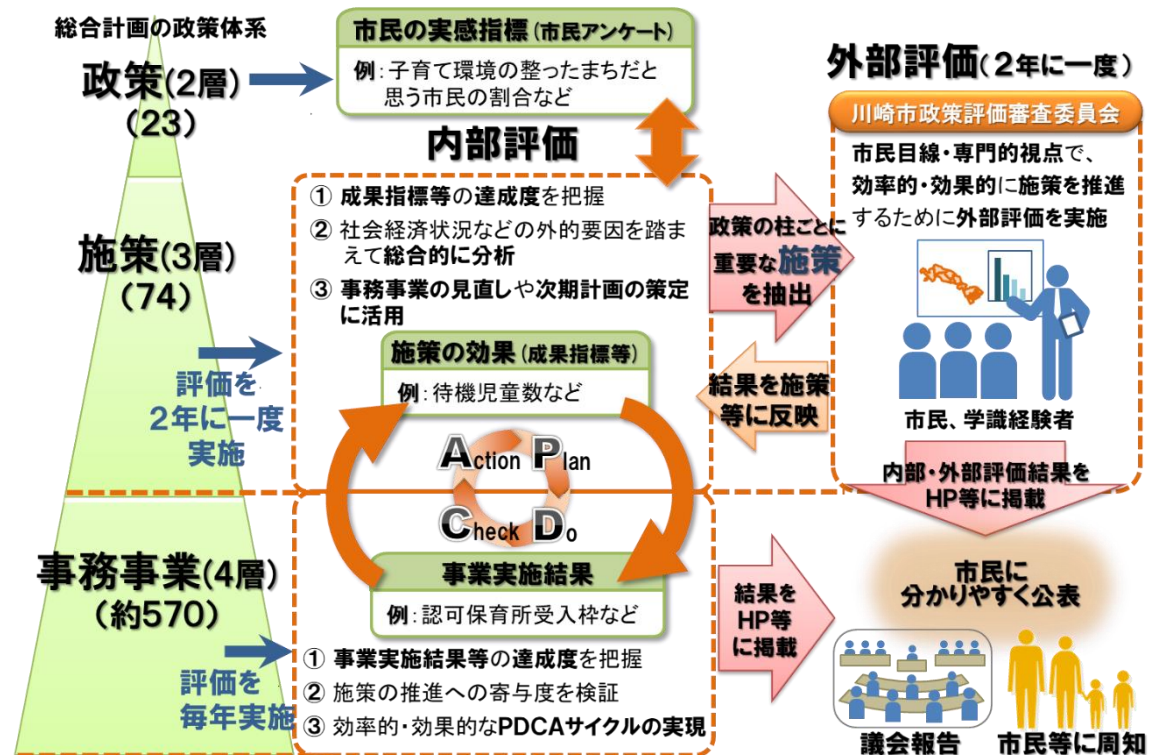
（冊子資料の5ページ）

総合計画では、どのように市の取組を推進すれば、よりよい成果が得られるかなどについて、市民の実感も踏まえて、内部・外部の視点により検証しながら進行管理を実施しています。

（1）施策・事務事業の評価

- 施策の評価については、施策ごとに設定した成果指標等を活用し、市の取組とその効果との関係を中期的な視点で検証しながら、効果的な事業の見直しや次期計画の策定につなげるため、2年に一度実施します。
- 事務事業の評価については、着実な進行管理を行うために、毎年実施します。

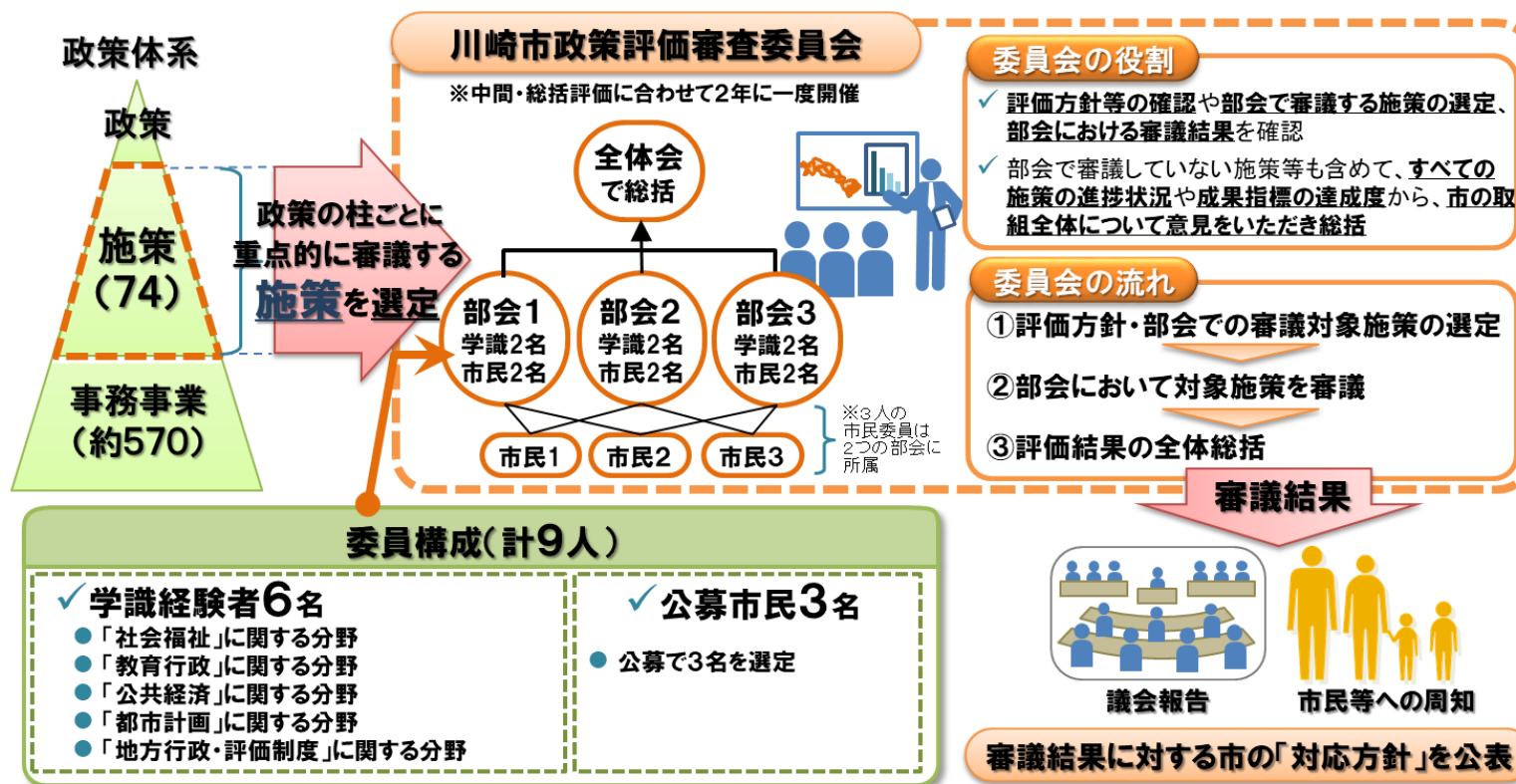
＜図1 総合計画における進行管理の全体概要＞



（２）川崎市政策評価審査委員会による外部評価

- 総合計画における重要な政策等の評価に関して調査審議するため、「川崎市政策評価審査委員会」を附属機関として設置し、学識経験者の専門的視点や市民目線による評価を実施し、より効果的に施策を推進します。
- 外部評価の対象は、委員の意見も踏まえ、政策ごとに施策を選定し、領域別に分けた部会の中で、施策の説明を十分に行い、市の取組を重点的に審議します。
- 委員会が出された意見については、市の対応方針を作成・公表し、今後の取組改善や次期計画に活用します。

<図２ 川崎市政策評価審査委員会のイメージ>



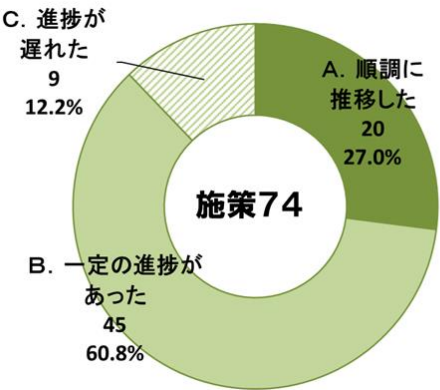
(1) 施策の達成状況

- 第3期実施計画における74の施策について「A. 順調に推移した施策」が20件(27.0%)、「B. 一定の進捗があった施策」が45件(60.8%)、「C. 進捗が遅れた施策」が9件(12.2%)、「D. 進捗が大幅に遅れた施策」はありませんでした。
- 成果指標の多くが目標を達成した「A. 順調に推移した施策」と、目標未達成のものがあるが一定の進捗があった「B. 一定の進捗があった施策」を合わせた割合は87.8%であり、第3期実施計画の目標に向かって、概ね順調に施策が推進したものと考えます。
- なお、「C. 進捗が遅れた施策」としては、利用者数やアンケート結果などの成果指標が第1期実施計画策定時の水準を下回ったものや、配下の事務事業のうち複数の事業に遅れが見られたものなどがありました。

＜表1 施策の基本政策別 達成状況区分の内訳＞

施策の達成状況区分	基本政策					区分合計	割合
	基本政策1	基本政策2	基本政策3	基本政策4	基本政策5		
A 順調に推移した (目標達成した)	5	0	3	11	1	20	27.0%
B 一定の進捗があった (目標未達成のものがあるが一定の進捗があった)	16	8	4	12	5	45	60.8%
C 進捗が遅れた (1期策定時を下回るものが多くあった)	2	2	1	4	0	9	12.2%
D 進捗が大幅に遅れた (1期策定時を大幅に下回った)	0	0	0	0	0	0	0.0%
合 計	23	10	8	27	6	74	100.0%

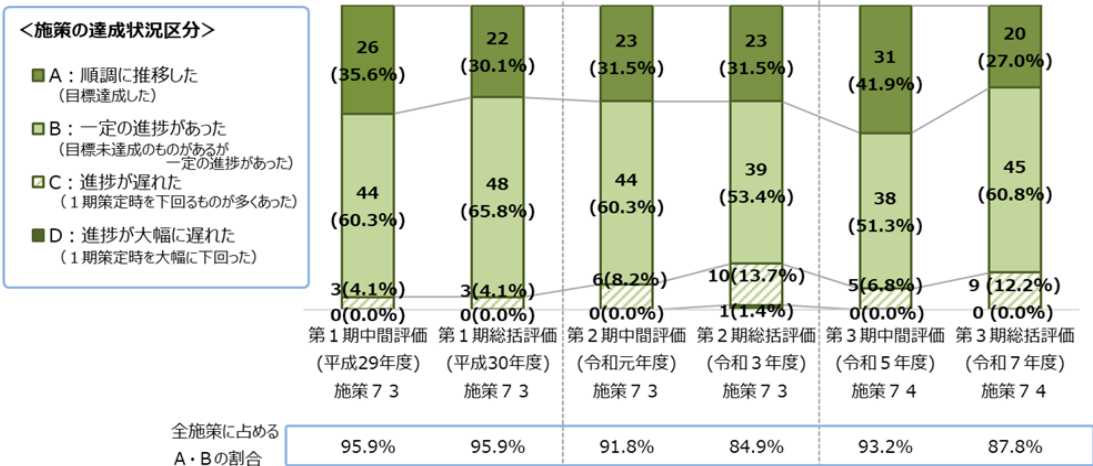
＜図3 施策の達成状況区分別件数・構成比＞



＜表2 達成状況区分Cの施策＞

施策	施策名
施策1-4-3	高齢者が生きがいを持てる地域づくり
施策1-6-2	信頼される市立病院の運営
施策2-2-3	安全で快適な教育環境の整備
施策2-3-2	自ら学び、活動するための支援
施策3-3-1	協働の取組による緑の創出と育成
施策4-3-2	働きやすい環境づくり
施策4-7-2	市域の交通網の整備
施策4-7-3	身近な交通環境の整備
施策4-8-3	音楽や映像のまちづくりの推進

＜図4 施策の達成状況の推移＞



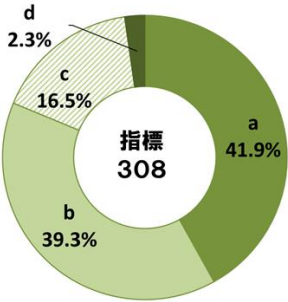
(2) 施策に設定した成果指標の達成状況

- 第3期実施計画における74の施策に設定した成果指標は312個あり、そのうち、目標値に達している指標（指標達成度区分a）は129個（41.9%）、目標値に達してはいないものの、第1期実施計画策定時の現状値（又は個別設定値）から一定進捗している指標（指標達成度区分b）は121個（39.3%）、第1期実施計画策定時の現状値（又は個別設定値）を下回った指標（指標達成度区分c）は51個（16.5%）、令和7年度時点の目標値からみた目標達成率が60%未満の指標（指標達成度区分d）は7個（2.3%）ありました。
- 今後、集計値が確定するものなど、現時点で達成度が出ない指標4個を除き、「指標達成度区分aとb」を合わせた割合は81.2%であり、そのうち「指標達成度区分b」については、目標達成率の平均が86.6%となりました。また、第1期実施計画策定時の現状値（又は個別設定値）を下回った「指標達成度区分c」については、目標達成率の平均が81.8%となっています。第1期実施計画策定時の現状値（又は個別設定値）を下回った原因は様々であることから、原因分析の結果を踏まえて、今後、取組を改善していきます。

＜表3 成果指標の基本政策別 達成度区分の内訳＞

指標達成度区分		基本政策1	基本政策2	基本政策3	基本政策4	基本政策5	区分合計	割合(※1含まない)		
								割合	割合(※1含まない)	目標達成率の平均
a	目標値以上	48	12	16	48	5	129	41.4%	41.9%	123.8%
b	1期策定時の現状値(又は個別設定値)以上～目標値未満	47	30	11	25	8	121	38.8%	39.3%	86.6%
c	目標達成率60%以上～1期策定時の現状値(又は個別設定値)未満	14	21	2	11	3	51	16.3%	16.5%	81.8%
d	目標達成率60%未満	3	1	1	2	0	7	2.2%	2.3%	47.4%
現時点で達成度が出ない指標※1		0	0	0	4	0	4	1.3%		
合計(※1を除く)		112	64	30	86	16	308			
合 計		112	64	30	90	16	312	100%		

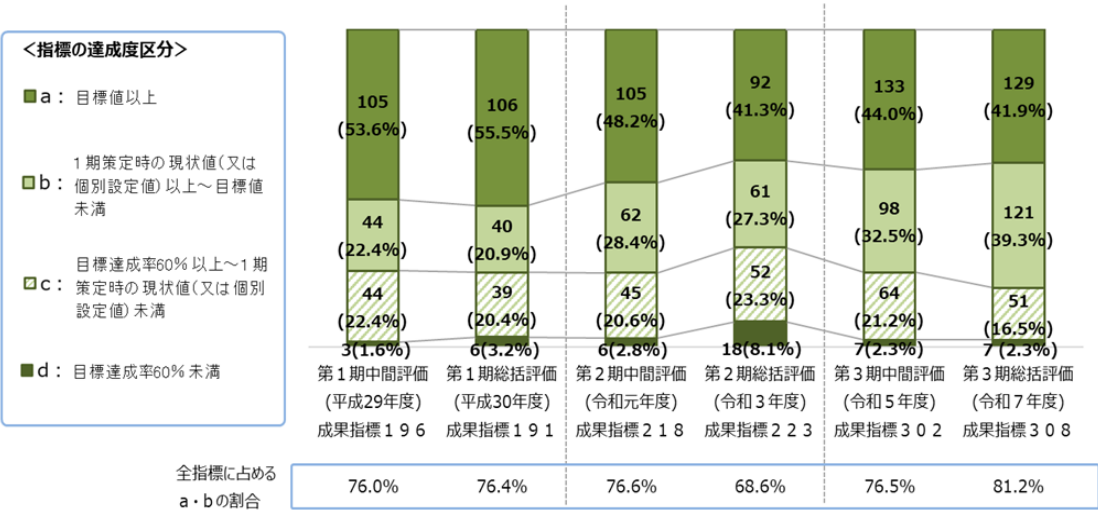
＜図5 指標の達成度区分別構成比＞



＜表4 指標達成度区分がdの指標＞

施策名	指標名
施策1-4-1 総合的なケアの推進	介護予防の取組として、地域の活動に参加する人の割合
施策1-4-3 高齢者が生きがいを持てる地域づくり	高齢者向け施設(いきいきセンター)の利用実績
施策1-4-7 生き生きと暮らすための健康づくり	特定保健指導実施率(国民健康保険)
施策2-2-1「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進	学校給食の残食率(小学校)【卵類】
施策3-3-4 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進	生産緑地の年間新規指定面積
施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成	市内商店街で行われる新たな顧客の創出や商店街の回遊性を高めるイベントの開催数
施策4-8-3 音楽や映像のまちづくりの推進	「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合

＜図6 指標の達成度の推移＞



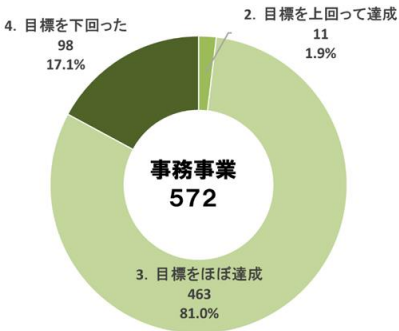
(3) 事務事業の達成状況

- 第3期実施計画における74の施策の配下に位置付けた572の事務事業について、令和7年度の評価を行った結果、「2 目標を上回って達成した事務事業」が11件(1.9%)、「3 目標をほぼ達成した事務事業」が463件(81.0%)、「4 目標を下回った事務事業」が98件(17.1%)、「1 目標を大きく上回って達成した事務事業」及び「5 目標を大きく下回った事務事業」はありませんでした。
- 「2 目標を上回って達成した事務事業」及び「3 目標をほぼ達成した事務事業」を合わせた割合は82.9%であり、一定程度進捗している状況です。
- 「4 目標を下回った事務事業」としては、社会環境の変化による地域の担い手不足や利用ニーズの変化などにより、計画に掲げた目標を達成できなかったものや、物価高騰等の影響により事業に遅れが生じたものなどがありました。

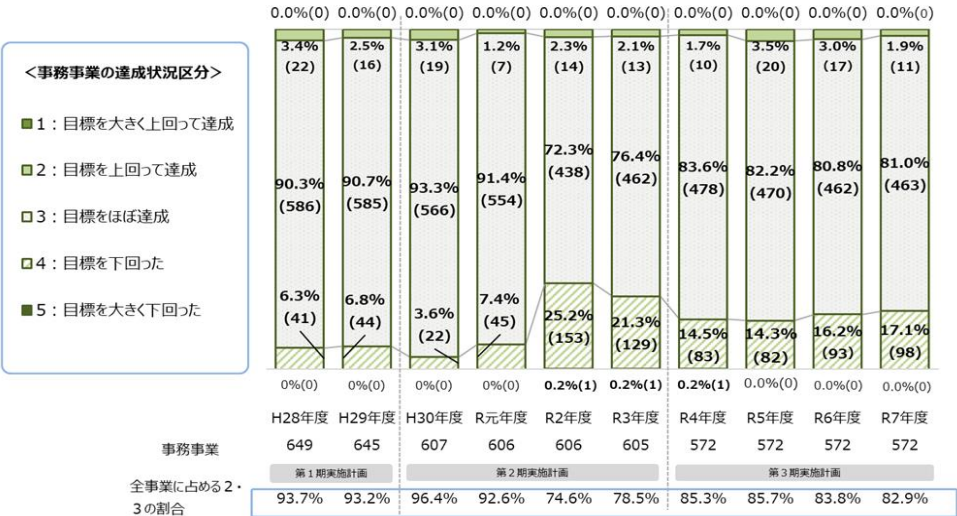
＜表5 事務事業の基本政策別 達成状況区分の内訳＞

達成状況区分	内容	基本政策1	基本政策2	基本政策3	基本政策4	基本政策5	区分合計	割合
1 目標を大きく上回って達成	●目標に明記した期日より相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ●目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ●目標に明記した数値を大きく上回った。	0	0	0	0	0	0	0.0%
2 目標を上回って達成	●目標に明記した期日より早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ●目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ●目標に明記した数値を上回った。	0	0	1	8	2	11	1.9%
3 目標をほぼ達成	●目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ●途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ●目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ●おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。	171	56	68	139	29	463	81.0%
4 目標を下回った	●目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ●目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ●目標に明記した数値を下回った。 ●所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。	43	14	4	31	6	98	17.1%
5 目標を大きく下回った	●目標に明記した期日より遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ●目標に明記した数値を大きく下回った。	0	0	0	0	0	0	0.0%
合 計		214	70	73	178	37	572	100.0%

＜図7 事務事業の達成状況区分別 件数・構成比＞



＜図8 事務事業の達成状況の推移＞



4 川崎市政策評価審査委員会における審議結果

(冊子資料の15ページ)

(1) 政策評価審査委員会の各部会における審議結果

選定した12の施策について、部会における審議の結果、市の内部評価結果（施策の達成状況：A. 順調に推移した、B. 一定の進捗があった、C. 進捗が遅れた、D. 進捗が大幅に遅れた）は、11施策が「妥当」、1施策が「妥当でない」と判断され、今後より効果的に施策を推進するための意見をいただきました。

＜表6 政策評価審査委員会の各部会における審議対象施策及び審議結果＞

部会	施策名	施策の達成状況	内部評価 結果の妥当性
第1部会	施策 1-4-6 誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備	B. 一定の進捗があった	妥当
	施策 1-6-1 医療供給体制の充実・強化	B. 一定の進捗があった	妥当
	施策 1-6-3 健康で快適な生活と環境の確保	B. 一定の進捗があった	妥当
	施策 2-1-1 子育てを社会全体で支える取組の推進	B. 一定の進捗があった	妥当
第2部会	施策 1-2-2 交通安全対策の推進	B. 一定の進捗があった	妥当
	施策 1-2-4 地域の生活基盤となる道路等の維持・管理	A. 順調に推移した	妥当でない
	施策 4-5-2 個性を活かした地域生活拠点等の整備	B. 一定の進捗があった	妥当
	施策 4-7-2 市域の交通網の整備	C. 進捗が遅れた	妥当
第3部会	施策 4-1-4 都市農業の強みを活かした農業経営の強化	B. 一定の進捗があった	妥当
	施策 4-2-2 地域を支える産業の育成・市内事業者等の新分野への進出支援	A. 順調に推移した	妥当
	施策 4-3-2 働きやすい環境づくり	C. 進捗が遅れた	妥当
	施策 4-4-1 臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備	B. 一定の進捗があった	妥当

（２）政策評価審査委員会における全体的な総括

施策全体の評価結果としては、Ａの「順調に推移した」が 27.0％、Ｂの「一定の進捗があった」が 60.8％となっていることから、第３期実施計画に掲げた目標に向かって一定進捗していると認められました。

また、本委員会での審議結果を踏まえ、より適切かつ効果的な評価の仕組みとするとともに、効率的・効果的な取組推進に向けた事業改善が図られること等を期待し、次のとおり意見をまとめました。

① 社会環境の変化に対応した柔軟かつ持続可能な施策の展開

- ・ 施策全体のうち、物価高騰や高齢化の進展による影響が生じているものなど、社会環境の変化に伴う課題が顕在化している施策が見受けられました（施策 1-4-6、施策 4-3-2）。また、こうした社会環境の変化は、地域の担い手不足にもつながるなど、今後様々な分野において、従来の手法では課題解決が困難となることが想定されます。
- ・ そのため、施策の推進にあたっては、こうした変化を的確に捉え、課題の背景にある要因を分析した上で、必要に応じて事業の枠組みを見直すなど、時代の変化に対応した柔軟かつ持続可能な施策展開を図っていく必要があります。

② 地域社会の実態等の把握やより詳細な要因分析に基づく効果的な取組の推進

- ・ 成果指標の実績値が目標水準に達していない要因について、十分な分析が行われておらず、具体的な改善策の検討に結びついていない施策が見受けられました（施策 1-2-2、施策 1-6-1）。
- ・ そのため、関連するデータの整理・分析を進め、課題を明確化した上で、それに対応した具体的な対策を検討するなど、客観的な根拠に基づき、より一層効果的な取組としていく必要があります。
- ・ また、施策の質を高め、効果的な取組を推進するためには、地域社会の実態や市民のニーズの的確な把握が重要であることから、その把握のための調査等を行い、実態に即した取組の改善や更なる発展につなげていく必要があります。

③ 市民への積極的な周知・ＰＲの実施

- ・ 市の取組は順調に実施されているものの、その内容が市民に十分に伝わっておらず、事業の周知に課題がある施策が見受けられました（施策 1-2-2、施策 4-4-1）。
- ・ 施策の推進にあたっては、事業対象に応じた適切な手法による情報発信や、デジタル技術活用の進展等も踏まえた柔軟な広報活動などにより、市の取組が広く市民に伝わるよう、市民目線に立った効果的な情報提供の手法を検討していく必要があります。

④ 施策が目指すべき姿を見据えた成果指標の設定

- ・ 施策全体のうち、成果指標の実績値が目標水準に達しているにもかかわらず、施策としての成果が十分に確認できないものや、課題の解決に長期間を要する事業において、指標からは成果を適切に把握できないものなど、市の取組による成果を適切に評価する上で、課題のある成果指標が設定されている施策が見受けられました（施策 1-2-4、施策 4-1-4）。
- ・ 今後の効率的・効果的な施策の推進にあたっては、目指すべき姿を見据えた上で目標値を設定し、本来求められる水準と現状との乖離を把握するとともに、その状況を市民と共有していくことが重要です。
- ・ また、外的要因等により、事業の進捗に影響が生じている場合であっても、市の取組が着実に進められている状況を示すことが重要であり、その成果を測るための適切な指標を設定していく必要があります。

5 その他

(1)「川崎市総合計画」第3期実施計画・総括評価結果の公表

令和8年8月20日（木）に議会（常任委員会）へ報告するとともに、報道機関への情報提供、区役所・図書館等への配架及び市ホームページへの掲載を行います。

(2)「川崎市総合計画」第4期実施計画における評価結果の公表

第4期実施計画における内部評価結果（令和8年度分）の公表は、令和9年8月頃を予定しています。
また、外部評価結果（中間評価）の公表は、令和10年8月頃を予定しています。

【参考】第4期実施計画の評価シート案

施策1-1-1 地域防災力の向上										
施策所管課 危機管理本部危機管理部										
施策の目標 自助・共助・公助の役割のもと各主体が連携し、地域の防災力が向上している										
定量的な成果										
成果指標1	災害時に備え、飲料水、食料、携帯トイレを3日分以上用意している割合									
	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位等				
	目標値	—	24.6以上 (R8年度)	29.7以上 (R9年度)	34.9以上 (R10年度)	40.0以上 (R11年度)	%			
	実績値	19.4 (R7年度)								
要因分析	●									
成果指標2	避難所運営会議における訓練を実施している割合									
	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位等				
	目標値	—	96.5以上 (R8年度)	97.7以上 (R9年度)	98.8以上 (R10年度)	100 (R11年度)	%			
	実績値	94.3 (R8年度)								
要因分析	●									
成果指標3	避難行動要支援者の安否確認等に協力いただける事業所等の数									
	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位等				
	目標値	—	65以上 (R8年度)	81以上 (R9年度)	97以上 (R10年度)	113以上 (R11年度)	カ所			
	実績値	49 (R7年度)								
要因分析	●									
その他										

取組の方向性

●市の防災対策を定めた各計画に基づく対策の推進や、自助・共助・公助の取組・連携の強化及び防災意識の向上による地域防災力の強化
●避難所環境の改善及び在宅避難を推奨する取組の推進
●災害直後の安否確認、救命・救護や、避難生活の支援等に向けた取組の推進

計画	取組内容				所管課 危機管理本部危機管理部			
	「かわさき強靱化計画」等、市の防災対策を定めた各計画に基づく取組及び、武力攻撃事象等あらゆる危険事象への対応力強化の取組を進めるとともに、新たな地震被害想定調査の結果を踏まえて公助の範囲を整理し、各計画に反映します。				主なアウトプット ●地震被害想定調査の実施（R8年度） ●かわさき強靱化計画及び備前計画の改定（R9年度）			
	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度				
	実績	●	●	●	●			
実績・予算決算（R7年度）	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算

指標判定

総合判定理由

計画	取組内容				所管課 危機管理本部危機管理部			
	自主防災組織等への支援、民間企業との連携、防災訓練や研修により、自助・共助・公助の取組を強化するとともに、在宅避難者への物資の支援等を避難所運営マニュアルに反映するなど、避難所環境の改善及び在宅避難の推奨を均等に推進します。				●自主防災組織リーダー等育成研修実施（毎年度） ●避難所運営マニュアルの改定（R9年度） ●携帯トイレの備蓄等への支援（R8年度～） ●自助・共助による水灾対策への補助（R8年度～） ●川崎市及び各区広域的な防災訓練の実施（毎年度）			
	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度				
	実績	●	●	●	●			
実績・予算決算（R7年度）	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算

指標判定

総合判定理由

計画	取組内容				所管課 危機管理本部危機管理部			
	指定避難所等のマンホールトイレの整備や、必要な量の携帯トイレの備蓄など、災害時の衛生的なトイレ環境の確保、備前物資及び食料の維持・管理、防災的・効果的な防災情報発信に関する基本方針に基づき情報発信や伝達手段の機能強化の取組を推進し、災害対応力の向上を図ります。				●マンホールトイレが整備されている避難所等の数（R7年度：24カ所→R11年度：124カ所、R13年度整備完了予定） ●防災ラジオの有償貸与・有償配布（R8年度）			
	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度				
	実績	●	●	●	●			
実績・予算決算（R7年度）	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算

参考資料 川崎市政策評価審査委員会関連資料

(1) 川崎市政策評価審査委員会 委員名簿

敬称略、五十音順

委員	氏名	所属部会	所属等
学識 経験者	岩崎 久美子	第1部会	放送大学 名誉教授
	◎ 川崎 一泰	第2部会	中央大学総合政策学部 教授
	久野 美和子	第3部会	電気通信大学脳・医工学研究センター 客員教授
	高尾 真紀子	第1部会	法政大学大学院地域創造インスティテュート 教授
	田島 夏与	第2部会	立教大学経済学部経済政策学科 教授
	○ 松井 望	第3部会	東京都立大学都市環境学部都市政策科学科 教授
市民	小関 龍司	第1・2部会	多摩区在住
	藤沢 尚慶	第1・3部会	川崎区在住
	山本 良子	第2・3部会	宮前区在住

※◎は委員長、○は副委員長

(2) 川崎市政策評価審査委員会の審議経過

令和5年度

第1回

令和6年1月25日(木) 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 委員長及び副委員長の選出
- 2 総合計画第3期実施計画の概要及び令和4年度事務事業評価結果について(報告)
- 3 政策評価制度の概要及び委員会の部会構成について
- 4 部会での審議対象施策の選定基準について

第2回

令和6年3月14日(木) 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 部会の審議の進め方について
- 2 部会で重点的に審議する施策の選定について

令和6年度

第2部会

令和6年5月24日(金) 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 審議対象施策の説明及び質疑応答
 - (1) 施策1-1-5 安全・安心な暮らしを守る河川整備【建設緑政局】
 - (2) 施策1-2-1 防犯対策の推進【市民文化局】
 - (3) 施策1-3-2 下水道による良好な循環機能の形成【上下水道局】
 - (4) 施策4-6-1 安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進【まちづくり局】
- 2 審議内容の総括

第1部会

令和6年5月27日（月） 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 審議対象施策の説明及び質疑応答
 - （1）施策1-4-4 障害福祉サービスの充実【健康福祉局】
 - （2）施策1-4-7 生き生きと暮らすための健康づくり【健康福祉局】
 - （3）施策2-2-3 安全で快適な教育環境の整備【教育委員会事務局】
 - （4）施策2-3-1 家庭・地域の教育力の向上【教育委員会事務局】
- 2 審議内容の総括

第3部会

令和6年5月31日（金） 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 審議対象施策の説明及び質疑応答
 - （1）施策4-1-1 アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化【経済労働局】
 - （2）施策4-9-2 川崎の特性を活かした観光の振興【経済労働局】
 - （3）施策4-2-4 スマートシティの推進【環境局】
 - （4）施策5-2-1 平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進【市民文化局】
- 2 審議内容の総括

第1回

令和6年7月5日（金） 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 部会における審議結果の報告について
- 2 川崎市総合計画第3期実施計画中間評価の結果概要について
- 3 審議結果の総括について

令和7年度

第1回

令和8年2月17日（火） 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 委員長及び副委員長の選出
- 2 政策評価制度の概要及び審議の進め方
- 3 部会での審議対象施策の選定基準
- 4 部会で重点的に審議する施策の選定

令和8年度

第2部会

令和8年5月28日（木） 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 審議対象施策の説明及び質疑応答
 - （1）施策1-2-2 交通安全対策の推進【市民文化局】
 - （2）施策4-5-2 個性を活かした地域生活拠点等の整備【まちづくり局】
 - （3）施策1-2-4 地域の生活基盤となる道路等の維持・管理【建設緑政局】
 - （4）施策4-7-2 市域の交通網の整備【建設緑政局】
- 2 審議内容の総括

第1部会

令和8年6月1日（月） 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 審議対象施策の説明及び質疑応答
 - （1）施策1-4-6 誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備【まちづくり局】
 - （2）施策1-6-1 医療供給体制の充実・強化【健康福祉局】
 - （3）施策1-6-3 健康で快適な生活と環境の確保【健康福祉局】
 - （4）施策2-1-1 子育てを社会全体で支える取組の推進【こども未来局】
- 2 審議内容の総括

第3部会

令和8年6月4日（木） 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 審議対象施策の説明及び質疑応答
 - （1）施策4-1-4 都市農業の強みを活かした農業経営の強化【経済労働局】
 - （2）施策4-2-2 地域を支える産業の育成・市内事業者等の新分野への進出支援【経済労働局】
 - （3）施策4-3-2 働きやすい環境づくり【経済労働局】
 - （4）施策4-4-1 臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備【臨海部国際戦略本部】
- 2 審議内容の総括

第1回

令和8年7月9日（木） 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 部会における審議結果の報告
- 2 川崎市総合計画第3期実施計画総括評価の結果概要
- 3 審議結果の総括
- 4 その他